古賀市中小企業等応援金交付申請に係る誓約書【法人用】

令和　年　月　日

（宛先）古賀市長

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人番号  （13桁） |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |
| 所在地 |  | | | | | | | | | 代表者印 | ※「申請書兼請求書」と同じ印鑑を押印してください。 | | | |
| 会社名 |  | | | | | | | | |
| 代表者  職・氏名 |  | | | | | | | | |
| 常時使用する従業員数 | 本店を含む**全事業所**（古賀市外の事業所を含む）の従業員数  **（　 　　　人）** | | | | | | | 左記のうち、**古賀市内の事業所**で常時勤務する従業員数  **（　　　　人）** | | | | | | |

**「古賀市中小企業等応援金」の申請にあたり下記の項目について同意及び誓約します。また、申請内容が虚偽又はこの内容に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても異議は一切申し立てしません。**

**なお、申請に対する虚偽が発覚した場合は、受給した応援金の返還等、古賀**

**市の指示に従います。**

1. 主たる事業所、店舗が、申請書に記載した古賀市所在の事業所、店舗である（常時使用する従業員の半数以上が古賀市内の事業所で勤務している）ことに相違ありません。
2. 申請した事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上の減少が生じているもので、他の要因で減少しているものでないことに相違ありません。
3. 本応援金は事業経営に活用し、受給後も事業を継続していきます。
4. 本応援金の申請で提出された内容は古賀市役所内で情報共有する場合があること、また、本応援金受給の前後を問わず市長が必要と判断した場合市職員が書類内容調査、聴き取り、現地確認等を行うことに同意します。
5. 暴力団及び暴力団員と密接な関係はありません。
6. 大企業が実質的に経営に参画していません。
7. 政治団体、宗教上の組織若しくは団体ではありません。
8. 交付申請にかかる提出書類全てにおいて、記載内容等は事実と相違ありません。

古賀市中小企業等応援金交付申請に係る誓約書【個人事業者用】

令和　年　月　日

（宛先）古賀市長

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所・店舗の所在地 | 古賀市 | 事　業  内　容 |  |
| 屋号（事務所・店舗名等）・雅号 |  | 営業日 |  |
| 営業時間 | ：　　～　　： |
| 代表者氏名 | ㊞  ※「申請書兼請求書」と同じ印鑑を押印してください | 代表者の住所 | ※住民票上の住所をご記入ください |
| 常時使用する従業員数 | 本店を含む全事業所（古賀市外の事業所を含む）の従業員数  **（　　　人）** | 左記のうち、古賀市内の事業所で常時勤務する従業員数  **（　　　人）** | |

**「古賀市中小企業等応援金」の申請にあたり下記の項目について同意及び誓約します。また、申請内容が虚偽又はこの内容に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても異議は一切申し立てしません。**

**なお、申請に対する虚偽が発覚した場合は、受給した応援金の返還等、古賀**

**市の指示に従います。**

１．主たる事業所、店舗が、申請書に記載した古賀市所在の事業所、店舗である（常時使用する従業員の半数以上が古賀市内の事業所で勤務している）ことに相違ありません。

２．申請した事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上の減少が生じているもので、他の要因で減少しているものでないことに相違ありません。

３．本応援金は事業経営に活用し、受給後も事業を継続していきます。

４．本応援金の申請で提出された内容は古賀市役所内で情報共有する場合が

あること、また本応援金受給の前後を問わず市長が必要と判断した場合、市職員が書類内容調査、聴き取り、現地確認等を行うことに同意します。

５．暴力団及び暴力団員と密接な関係はありません。

６．生活保護を受給していません。

７．政治団体、宗教上の組織若しくは団体ではありません。

８．交付申請にかかる提出書類全てにおいて、記載内容等は事実と相違ありません。